

(様式1)

記入例

事務局
記載欄

受付番号

貸付

令和2年4月〇〇日

公益財団法人ひょうご産業活性化センター理事長 様

申請者 団体の所在地

神戸市中央区〇〇町 〇〇-〇〇-〇〇
〇〇マンション 〇〇〇

団体名称

屋号〇〇〇〇〇

代表者氏名

代表者 兵庫 太郎 (印)

高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業 事業計画申請書

別紙の事業計画について、高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業の認定を受けたいので申請します。

記

項目名		〇記入欄	備考
事業計画の区分	① 助成金のみ申請	〇	①②のいずれかに〇を入れる
	② 助成金と貸付金の同時申請		
空き家活用の有無		〇	有の場合〇を入れる

《事業計画の名称》

(例) 地域住民のためのコミュニティスペース運営事業

(事業内容を的確に表現した簡潔な名称を30字以内で示してください)

《誓約》

- 1 私(当団体)は反社会的勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。
- 2 私(当団体)は現在、訴訟による係争はなく事業運営に支障のないことを確約します。
- 3 私(当団体)は現在、法令違反による処罰を受けておらず事業運営に支障のないことを確約します。
- 4 私(当団体)は、助成事業期間中及び助成補助事業期間終了後も、本事業を実施していく上で法令及び「令和2年度高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業ビジネスプラン募集要項」を順守することを確約します。
- 5 私(当団体)は「『令和2年度高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業ビジネスプラン募集要項』3 応募資格等別記 助成対象外とする業種」に記載する事業を実施しないことを確約します。
- 6 以上の制約を履行できない場合で、採択・交付決定の取消となる場合や、助成金、貸付金の返還を求められる場合は、これに応じることを確約します。

署名 兵庫 太郎 (印)

※ 必ず自筆で署名してください。また、法人の場合は代表者が署名・捺印してください。

(様式2)

事業計画書

【申請上の注意】

- 1 各項目には指定された必要事項を必ず記載すること。記載もれ等提出書類に不備がある場合は、審査の対象から外す場合があります。
- 2 申請書は片面印刷とし、ページ数を変更させないこと。枠内に書ききれない場合は、枠内に「詳細は別紙」と記入のうえ、別紙に詳細を記載してください。別紙等補足資料を添付する場合はA4版3枚まで
- 3 申請書など、提出書類はホチキス止めしないこと
- 4 申請書には必要書類を必ず添付すること。(9ページ「提出書類チェックリスト」参照)

1 申請団体の概要

(1) 団体の名称、所在地等

フリガナ	○○○○○○○○○○			
団体名	○○○○○ (※法人の場合は会社名：株式会社○○○○○など)			
団体の所在地	〒○○○-○○○ 神戸市中央区○○町 ○○-○○-○○ ○○○マンション ○○○	TEL	○○○ (○○) ○○○○	
		FAX	○○○ (○○) ○○○○	
		E-mail	○○○@○○○.○○.○○	
構成員	人数	4人	うち55歳以上の人数 (代表者含む)	3人

(2) 代表者の情報

フリガナ	ヒョウゴ タロウ	戸籍上の性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男	生年月日	<input type="checkbox"/> 大正、 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 33年4月2日
氏名	兵庫 太郎		<input type="checkbox"/> 女	携帯電話	○○○ (○○) ○○○○
現住所	〒○○○-○○○ ○○市○○町○○町 ○○-○○-○○	TEL	○○○ (○○) ○○○○		
		E-mail	○○○@○○○.○○.○○		

(3) 団体の沿革や活動内容

どのような組織づくりや活動を経て現在に至ったのか、簡潔に記載してください。

経緯	●開業に至った経緯(目的、経験、開業者の思い、など)
活動内容	●(例) ①キッチン・スペースを中心としたコミュニティビジネスの企画・管理 ②講習会・交流会等のイベントの主催 ③○○教室の運営 等
本申請の活動開始日	<input checked="" type="checkbox"/> 平成、 <input type="checkbox"/> 令和 31年4月1日

2 事業計画

(1) 事業計画の名称

様式1「事業計画申請書」に記載した事業計画の名称と同じ名称を記載してください。

(例) 地域住民のためのコミュニティスペース運営事業

(2) 事業の概要

この事業を開始することに至った経緯や、なぜ必要とされているのか、地域課題の具体的なニーズや背景、事業の内容をわかりやすく記載してください。

本申請の 活動開始日	<input checked="" type="checkbox"/> 平成、 <input type="checkbox"/> 令和 31年4月1日
地域の課題 やニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画された事業のニーズや背景（必要としている相手（ターゲット）、背景（時代や身の回りなど））
事業の 目的・方針	<p>地域課題やニーズにどのように対応するかを中心に、簡潔に記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 計画された事業の目標（事業を実現化することでどのようになるのか など）
事業の 内容・手法	<p>開発・提供する商品やサービス等を具体的に示し、それらを生み出すための取り組みをわかりやすく記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業を実現するために開発、提供する商品やサービス等を出来るだけ具体的にご記入ください。 ● その商品やサービス等をどのように事業展開（手法）していくかをご記入ください。
地域資源の 活用と地域と の連携	<p>地域の物的資源（農林水産物や観光資源等）、人的資源（地域において様々なノウハウを持つ人）の活用方法や地域の協力体制について記載してください。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元の方が育てた米や野菜を調達できる関係があり、地元農家との連携ができる ● 近隣のデイサービスと協力体制が構築できており情報交換、サービスの提供ができる 等

(3) 事業の準備状況（必要な資格・届出等）

《資格・届出等が必要な事業の場合…取得等の状況》

・資格: 調理師免許 (兵庫 太郎 平成31年4月取得)

・届出等: 開業届 (平成31年4月届出) 飲食店営業許可証 (平成31年4月取得)

※ 資格・届出等の名称と取得の日付を記載してください(手続中・準備中の場合は「〇月頃取得(手続)予定」と記載)。

(4) 事業のPRポイント

審査のために重要な事項ですので、分かりやすく記載してください。

新規性・ 独創性・ 優位性	<p>○開発・提供する商品やサービス等と、従来からある類似商品・サービス等を比較した場合の新規性・独創性・優位性について記載してください。</p> <p>※(2)で記載したことについて、数値などを用いて左記のテーマに沿って詳細(具体的に)ご記入ください。</p>
市場性	<p>○商品・サービス等の市場性(顧客ターゲット、市場規模、販売先等)や将来性について、数値等を用いて具体的に記載してください。</p> <p>※(2)で記載したことについて、数値などを用いて左記のテーマに沿って詳細(具体的に)ご記入ください。</p>
マーケティング 戦略 (継続性)	<p>○事業を実施する場合のPR方法、販売予定価格、マーケティング手法のほか、継続的な経営をするための実施方法などを具体的に記載してください。</p> <p>※(2)で記載したことについて、数値などを用いて左記のテーマに沿って詳細(具体的に)ご記入ください。</p>
地域経済 活性化への 波及効果	<p>○事業が実現されることにより、地域経済の活性化(人的・物的資源の活用や高齢者等の就業機会の拡大等)へ、どのような効果があるかを記載してください。</p> <p>※(2)で記載したことについて、数値などを用いて左記のテーマに沿って詳細(具体的に)ご記入ください。</p>

(5) 事業のスケジュール

具体的な実施項目												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
記入例	※事業への取り組み内容(既の実施した作業がある場合はそれも含む)を記載してください。 <子育て交流カフェ>											
	内装等開店準備			カフェ営業開始								
	メニュー開発			子育て教室サービス開始								
	人材募集		広報活動		広報活動							

開業1年目 (令和2年4月～令和2年12月)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	R2年4月開業届提出 R2年5月オープンの場合			人材募集		内装工事		初度備品・設備導入				
			開業届		営業開始							
			広報活動									

開業2年目 (令和3年1月～令和3年12月)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	営業活動											
広報活動					新メニュー開発			広報活動				

※ 期間の区切りは、個人事業は1月から12月、法人は決算期で区切って記載してください。

3 事業見通し

(単位:円)

		開業1年目	開業2年目	売上高、売上原価(仕入高)、経費を 計算した根拠を記載してください。
		令和2年4月1日～ 令和2年12月31日	令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	
売上高①		4,000,000	6,000,000	●売上高 @1,000円/人 20人/日 25日/月 ●売上原価(仕入高) 売上高×30% ●経費 人件費100,000円/月(1年目) 150,000円/月(2年目) 家賃50,000円/月 支払利息60,000円/年 内装工事費500,000円(初年度のみ) 備品 初年度:1,000,000円 業務冷蔵庫他 2年目:120,000円 他備品 水道光熱費50,000円/月 HP作成費300,000円(初年度のみ)
売上原価②		1,200,000	1,800,000	
経費	人件費	800,000	1,800,000	
	家賃	400,000	600,000	
	支払利息	40,000	60,000	
	その他(内装工事費・備品)	1,500,000	120,000	
	その他(水道光熱費)	400,000	600,000	
	その他(HP作成費)	300,000	0	
経費計③		3,440,000	3,180,000	
利益①-②-③		-640,000	1,020,000	

4 開業に必要な資金の調達方法

(単位:円)

調達の方法	金額	内訳(相手先・助成金名等)
(1)自己資金	1,550,000円	
(2)借入	1,000,000円	○親族、知人、金融機関等からの借入を記載してください。 金融機関 (1,000,000円) (円)
(3)助成金	2,000,000円	○今回の助成金、他の助成金を記載してください。 高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業助成金 (2,000,000円) (円) (円)
合計(1)+(2)+(3)	4,550,000円	

(注)自己資金、借入がない場合は、金額欄に0を記載してください。

5 事業実施体制(人員配置)

○団体の中核となって事業に従事する者について記載してください。

役職等	氏名	年齢	勤務体制	主に従事する業務
※記入例 代表	兵庫 太郎	60	週3日 1日3時間	調理・運営
	〇〇 〇〇	68	週3日 1日3時間	受付・広報
	〇〇 〇〇	35	月2日 1日3時間	総務・企画

6 雇用を予定している55歳以上の者の勤務体制

氏名(未定でも可)	年齢	勤務体制	業務内容	勤務にあたって配慮する事項
※ 記入例 〇〇 〇〇	70	週3日 1日3時間	受付・調理補助	体調・家庭の事情等に 配慮した勤務

7 従事者計画

1年目	従事者数(うち55歳以上の者)		4人(3人)
	内 訳	雇用者(うち55歳以上)	3人(3人)
		雇用者以外の従事者(うち55歳以上)	1人(0人)
2年目	従事者数(うち55歳以上の者)		6人(5人)
	内 訳	雇用者(うち55歳以上)	5人(5人)
		雇用者以外の従事者(うち55歳以上)	1人(0人)

※ 雇用者以外の従事者欄には、概ね1ヵ月以内のアルバイト、有償・無償ボランティア等の人数を記載してください。

(様式 3)

助成金の使途

(単位：円)

区分	対象経費の内訳 (令和2年4月1日から令和3年1月末日までに物品等の引渡しや役務の提供及び支払いが完了する経費に限る。)	助成対象経費の額	
① 起業に係る経費	事務所 開設費	内装工事費 500,000 円 500,000 円	
		小計(a)	500,000 円
	初度備品費	業務用冷蔵庫 500,000 円 電化製品 300,000 円 広告宣伝費 200,000 円	500,000 円 300,000 円 200,000 円
		小計(b)	1,000,000 円
	人件費	55歳以上雇用者給与(3人) 900円×3時間×3日×4週×8か月×3人=777,600円	777,600 円
		小計(c ※上限 50万円)	500,000 円
	専門家経費	専門家への謝金 50,000 円	50,000 円
		小計(d)	50,000 円
		起業に係る経費 計(e=a+b+c+d)	2,050,000 円
		助成金申請額 I (e×1/2 ※上限 100万円)	1,000,000 円
② 空き家活用に係る経費	空き家改修費	屋根補修工事費 1,500,000 円 水回り改修工事費 1,000,000 円	1,500,000 円 1,000,000 円
		空き家に係る経費 計(f)	2,500,000 円
		助成金申請額 II (f×1/2 ※上限 100万円)	1,000,000 円
助成金申請額合計(I+II ※上限 200万円)		2,000,000 円	

※ 科目ごとに、品名・サービス名、単価、数量などを記入してください。

※ 区分ごとの記入欄は必要に応じて大きさを変更してください。

※ 助成金申請額は、助成対象経費合計額(e)、(f)の1/2以内で、千円未満は切り捨てとし、上限は I、IIそれぞれ 100万円以下です

■ 生きがいごとサポートセンター 記入欄

記入者	所属: 生きがいごとサポートセンター _____	氏名:
① 申請書が適切に記載されているか		
② 地域課題に貢献する事業であるか		
③ 高齢者の雇用機会が見いだされるか		
④ 内容の具体性・実現可能性		
⑤ 事業の継続性があるか		
⑥ 地域経済への波及効果はあるか		

責任者確認欄	年 月 日 確認	職氏名	印
--------	----------	-----	---

■ 団体等の所在地または事業予定地の市町等が実施する支援施策の利用状況(H30年以降)

事業を実施するために、市町や商工会・商工会議所(商工会等)などや金融機関が実施する支援施策を平成30年以降に利用した場合又は今後利用する場合、記載してください。

創業塾(注1)	<input type="checkbox"/> 受講済み(実施機関:) <input type="checkbox"/> 受講中 (実施機関:) <input checked="" type="checkbox"/> 受講していない
個別相談(注2)	<input checked="" type="checkbox"/> 受けたことがある・受けている(実施機関: ○○商工会議所) <input type="checkbox"/> 受けたことがない
市町等(外郭団体を含む)の起業等に関する助成金	<input type="checkbox"/> 受領済み(申請先:) <input type="checkbox"/> 申請中又は申請予定(申請先:) <input checked="" type="checkbox"/> 申請予定なし

(注1) 実施機関については、市町、商工会等、中小企業支援センター、金融機関や生きがいごとサポートセンター等の名称を記載してください。

(注2) 今回指導を受けた生きがいごとサポートセンター以外の実施機関を記載してください。

■ 提出書類チェックリスト(※提出する書類は、チェック欄に○を付けてください。)

1 申請者共通

チェック	申請書類
<input type="radio"/>	① 当該ページ
<input type="radio"/>	② 高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業 事業計画申請書(様式1)
<input type="radio"/>	③ 事業計画書(様式2)
<input type="radio"/>	④ 助成金の使途(様式3)
<input type="radio"/>	⑤ その他(事業計画の補足説明資料等。A4版片面3枚まで)
<input type="radio"/>	⑥ 【法人の場合】履歴事項全部証明書(いわゆる商業登記簿謄本)の写し
<input type="radio"/>	⑦ 定款もしくは団体の規約
<input type="radio"/>	⑧ 代表者の住民票の写し
<input type="radio"/>	⑨ 構成員名簿及び55歳以上の構成員の生年月日が確認できる書類
<input type="radio"/>	⑩ 事業を実施する場所の概要資料(現況写真・図面等)
<input type="radio"/>	⑪ 【許認可を伴う業種の場合】許可証の写し

3 ひょうごチャレンジ起業支援貸付を同時申請する場合

<input type="radio"/>	ひょうごチャレンジ起業支援貸付申請書
-----------------------	--------------------

■ 本助成金への応募のきっかけについて、情報の入手先及び【 】に○を付けてください。

- ひょうご産業活性化センター(よろず支援拠点) 【広報誌・チラシ・HP・メルマガ・窓口】
- 兵庫県(本庁・各県民局等) 【広報誌・チラシ・HP・メルマガ・窓口】
- 市役所・町役場 【広報誌・チラシ・HP・メルマガ・窓口】
- 生きがいごとサポートセンター 【広報誌・チラシ・HP・メルマガ・窓口】
- 商工会議所・商工会、金融機関 【広報誌・チラシ・HP・営業担当者・窓口】
- その他 【知人・経営コンサルタント・税理士・新聞記事・その他()】←具体的に記載ください